

月刊

書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No81～

令和2年（2020年）



目次

- ◇夏季特訓開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ◇第5回臨書展審査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ◇書文協の活動方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- ◇「美しい文字で心がやすらぐ書き込み式ペン字練習帳」紹介・7
- ◇第9回全国書写書道総合大会案内・・・・・・・・・・・・8

一般社団法人日本書字文化協会(書文協)

本部 〒164-0001 東京都中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3階

電話03-6304-8212 / FAX03-6304-8213

メール info@syobunkyo.org

ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

第9回全国書写書道総合大会の「ひらがな・かきかたコンクール」の応募締め切りは9月18日（金）です！当紙8ページ、ホームページご参照。

夏季特訓を開催 書文協専修学院

書文協附属書写書道専修学院の夏休み恒例、夏季特別講習会（夏季特訓）が、厳重な防疫体制の下、中野ゼロホールと青梅・大門市民センターで開催されました。中野は11、12、14、16日。青梅は12、14日の開催。3密防止など防疫態勢徹底のため、1コマごとの人数を制限しましたので申し訳ないのですが、全体で約40人が参加、意欲の高さを示しました。



（写真は、8月11日、中野ゼロホールで行われた夏季特訓風景）



夏季講習は1日4コマ（1コマ90分）行われ、参加者は第9回総合大会の課題練習の練習などに励みました。半切に向かった生徒たちは、皆マスク姿ですが、意気軒高と筆を走らせていました。

第9回総合大会の実施要項、参考手本はホームページに掲載

第9回総合大会の「ひらがな・かきかたコンクール」「学生書写書道展」「全国硬筆コンクール」の課題・参考手本は書文協ホームページに記載されています。横タスクバーの右から2つ目「大会」にカーソルを当てると、項目が表示されますので「総合大会」をクリックしてください。実施要項と参考手本を見ることができます。

第5回臨書展審査結果決まる

書文協主催の第5回臨書展（大会実行委員長・渡邊啓子）の審査会は8月1日、都内施設で、中央審査委員長・加藤東陽先生の参加を得て開かれました。今回の応募数は925点で前回（882点）をやや上回りました。緊急事態への対応から締め切りと審査会を大幅に伸

ばすことになり、恒例の東京都青梅市・多摩川上流の澤乃井ガーデンギャラリーでの優秀作品展示会は中止となります。



大賞に大平知雅さん（高3）

審査会で加藤東陽先生は、出品者の学ぶ姿勢の良さ、指導者の指導の確かさを指摘し、臨書の意義を強調されました。大賞は二松學舎大学附属高校3年（2020.08現在）、大平知雅さん（17）の作品「彼無上大覚」（写真）は「書に品性があり、のびのびと書けている」（加藤委員長）と評価され、受賞しました。「彼無上大覚」は、伊都内親王の（寺に収めた）願文の一部であり、それを書いたのは、日本の三筆の一人、橘逸勢と伝えられています。

（特別賞5作品は月刊書字文化9月号に掲載します。）



意義ある臨書展 指導者の教え方も良い

出品された作品はいずれも取り組む姿勢が真面目である。奇をてらった感じの作品が少ないのは良い。段階に応じた学び方、返して言えば、指導者の教え方がよいのだろう。

書の学習において、形・筆遣い・全体構成が3要素となる。そしてこれらが礎となって、粗密、墨の濃淡・潤渴などにより平面芸術としてのものが三次元のものとなり、立体感も生まれ、余白美への効果があることを覚えておこう。

また、字の崩し方にも注意したい。例えば、常設課題『楓橋夜泊』の臨書手本となっている寒山寺拓本の「姑」の崩し方が不明であるが、不明のままに書くのではなく、他の古典の文字などを参考に「女偏（へん）」をしっかりと表現するなどの工夫が必要である。

漢字を生んだのは中国であり、中国から学ぶことはたくさんある。書道の基本として臨書に取り組むことはとても大事だ。また、文字を通した日中の文化交流は大事であり、臨書展の意義は大きい。長い文字文化交流の年月を経て、中国から教わるだけでなく、こういう書き方もある、と日本が学びの姿勢を中国に示すことも大事になって来たのではないだろうか。

「淡々と臨書しただけ。高い評価を得てうれしい」

大賞受賞 大平 知雅さん

お手本の願文は先生が選んでくれました。初めはお手本をよく見て、字の形やバランスをしっかりと覚えるようにします。しかし、最後はお手本は見ないで、自分らしさを出すことに努めました。お手本の真似をした字を書くつもりはありません。



気を付けた第一は、テンポよく書くこと。そして全体のバランスを取ることでした。難しかったのは「無上」の上の字です。他の文字に比べて画数が少なく、全体とバランスを取るのが大変でした。

審査で「品性がある」とほめられたことは大変嬉しいですが、自分では分かりません。賞取りにこだわらず、淡々と筆を運ぶのが自分らしいと思っています。そこを分かっていただけでしたら、こんなに嬉しいことはありません。



◇第5回臨書展の概要◇

- 1、主催 一般社団法人日本書字文化協会
2、後援 東京都青梅市日本中国友好協会、中国書法学院、国際芸術家連盟、NPO 法人日中友好交流促進会、中国国立南京芸術学院日本校
蘇州・寒山寺、蘇州吳昌碩研究会
3、作品〆切 令和2年4月13日（月）必着
4、応募資格 全部門とも年齢不問
5、募集部門

＜臨書の部＞ 用紙は半切、八ッ切、半紙

- ・自由課題（高校教科書臨書教材から4文字以上）
- ・常設課題（漢詩・楓橋夜泊）の1句以上（1句中の四文字、三文字でも可）

＜楷書書写の部＞ 下記から選ぶ。用紙は半紙、八ッ切

- ・1字：月 満 天 漁 火 城 外 の中から1文字
- ・2字：漁火 ・ 3字：寒山寺

＜常設課題について＞

漢詩「楓橋（ふうきょう）夜泊（やはく）」は、唐代の詩人・張継（ちょうけい）の作。寒山寺碑文の書家は清末の愈越（ゆえつ）。この碑文を模した碑が日本寒山寺にも置かれている。

月 落 烏 啼 霜 満 天 （つきおち からすないて しもてんにみつ）

江 楓 漁 火 對 愁 眠 （こうふう ぎよか しゅうみんにたいす）

姑 蘇 城 外 寒 山 寺 （こそじょうがいの かんざんじ）

夜 半 鐘 声 到 客 船 （やはんのしょうせい かくせん にいたる）

6、賞

特別賞は、大賞（臨書の部から選出）、中央審査委員会賞、日本書字文化協会会長賞、青梅市日中友好協会会長賞、日中文化交流促進会理事長賞、優秀賞

受賞者は以下の通り（学年は2020・8月現在）

大賞	大平 知雅	二松學舎大学附属高校3年
中央審査委員会賞	関口 美夢	東京都青梅市立第2小学校6年
日本書字文化協会会長賞	鮫島 世玲菜	東京都・光塩女子学院高等科2年
青梅市日本中国友好協会会長賞	山本 恵子	大阪府・一般
日中文化交流促進会理事長賞	中野 めい	東京都・早稲田大学大学院1年
優秀賞	橋本賢財（小3:大阪）、清水莉瑚（小3:大阪）、河本美羽（小4:大阪）、米岡怜愛（小4:東京）、中村陽歩（小5:東京）、高橋舞（小6:大阪）、堀江健太郎（中1:東京）、近藤乃愛（高3:秋田）、大平麗雅（大1:東京）、内山陽子（一般:東京）、杉本龍峰（一般:山梨）、大本啓子（一般:東京）	

第6回臨書展募集

第6回臨書展は2021年3月に募集の予定です。第5回実施要項（下記参照）と基本的に変わりません。奮って応募ください。

書文協の今後の活動方針

平常化への道筋は、地域の実情によって異なります。各団体ともご遠慮なく書文協に問い合わせ・相談の連絡をお寄せください。

「今後の基本方針・スケジュール」

月刊書字文化 5 月、6、7 月号でお知らせした内容と基本的に変わっていません。

① 全国検定・ライセンス試験、検定事前添削指導、特別段級認定試験などは通常通り実施します。

② 本部・各地講習会は基本的に当面開催しません。地域の実情により開催する場合があります。ご相談ください。

③ 今後もオンラインを活用します。作品写メールと電話指導を組み合わせによるもので、書文協本部は動画方式のシステムは使いません。



④ 第9回全国書写書道総合大会 詳しくは、月刊書字文化6月号（本号）掲載の総合大会実施要項を参照ください。

⑤ 上記総合大会の中央審査会は10月第5週（25—31日）の間で調整し、開催します。

⑥ 優秀作品展示・表彰・交流会 開催するかどうかは検討中

⑦ 書文協創立10周年記念会 開催するかどうかは検討中
*詳細につきましては月刊書字文化10月号（9月末ごろ刊行）で発表

⑧ 書文協附属書写書道専修学院は6月5日より、対面授業を再開しました

⑨ 東京都羽村市に書文協多摩支部を7月4日から設置。同時に同支部に専修学院多摩教室を開設、青梅教室はそこに変わりました。

予定が変更される場合があります。
事前にホームページのチェックをお願いします。



「美しい文字で心がやすらぐ

書き込み式ペン字練習帳」

～6月19日から全国で発売～

- ◆出版社 朝日新聞出版社
- ◆手本・監修 大平恵理（書文協会会長）
- ◆AB判 本文80ページ B5判の高さでA4判の幅。広げて使い易い厚さ。
- ◆価格 770円（本体+消費税）

教場の副読本に、生徒さんにお勧めを

心が落ち着くなど書写書道のメンタルな面に加えて、長い言葉を書く硬筆は、文字、言葉との触れ合いが多く、また、自学自習し易い学びです。この本は、非常事態下で是非手にしたい本として緊急出版されました。

前向きになれる言葉、時候のあいさつ、手紙文の慣用句など多くの言葉が美しいペン文字で書かれています。それだけでなく、止め・はね・払いなど書写書道の基本、筆圧のかけ方、姿勢などについても正しく身に付くように工夫されています。

書文協の学びは、各書塾での先生方のご指導を基本とします。新硬筆検定テキストの自学自習副読本として、教場・教室の生徒さんに是非お勧めください。



「色即是空・・・」般若心経のペン字写経にも挑戦

筆記用具は、硬筆でも年齢が上がるとともに使用者が増えるペン字としました。ペンで般若心経を写経するコーナーもあります。写経と言えば毛筆を連想しがちですが、ペン書き写経にも是非挑戦してください。

目次抜粋

- ▶ペン字練習に適した持ち方・書き方・座り方
- ▶前向きになれる言葉を書く
- ▶四季を感じる言葉を書く
- ▶ひらがな、カタカナ、漢字を美しく書くポイント
- ▶縦書き、横書きの練習
- ▶時候の挨拶（春夏秋冬）
- ▶手紙の用語練習

第9回全国書写書道総合大会ご案内

◆各コンクール実施日程

- ・令和2年度ひらがな・かきかたコンクール（公募展）
応募は2020年 9月18日（金）必着
- ・令和2年度全国学生書写書道展（席書の部） 9月19日（土）～10月18日（日）の間に実施。参加申し込みは席書大会開催の14日前まで。
- ・令和2年度全国学生書写書道展（公募の部）
- ・2020年関署の部全国硬筆コンクール（公募展）
両コンクール共に応募は2020年10月23日（金）必着

（注）問い合わせを、状況に応じて開催の有無を含め、席書認定会場の条件などが変更される場合があります。最終決定は8月下旬に発表予定です。その前でも、どんなことでも結構ですので書文協にお問い合わせください。

◆参考手本発表・評価の観点発表予定

参考手本は7月上旬、ホームページで発表（ダウンロードして使用可）。評価の観点は7月下旬ホームページで発表。

◆印刷手本、応募用紙発売 ※金額は税抜き価格

印刷手本は7月上旬より発売。毛筆はA3判1枚97円、硬筆はB5判原寸大1枚37円。硬筆は共通清書用紙使用1枚12円（100枚以上は15%引き）。送料は希望者負担。申し込み用紙（ホームページの各種用紙ダウンロード欄から）を使用し、書文協本部に申し込んでください。

◆審査結果発表

- ・ひら・かきコンクールは2段階発表。本賞は10月末発送開始、特別賞・準特別賞は12月初旬発送
- ・学生展・硬筆コンクール 12月初旬、全員の審査結果表と賞状・副賞を同時に発送します。
- ・ホームページ上での上位優秀賞受賞者氏名・作品ネット展示は、11月下旬にアップ

◆優秀作品展示・表彰・交流会

開催するかどうか検討中。

◆賞 各コンクール共通

個別コンクール賞

特別賞＝文部科学大臣賞、名誉大賞（前回、大臣賞で今回大臣賞候補作品）、大賞（大臣賞に匹敵する作品）、審査委員会賞、書文協会長賞、推進機構理事長賞、小・中・高校長会賞、全書研会長賞、各主催・後援団体の賞、教育特別奨励賞

準特別賞＝優秀特選ベスト10 **本賞**＝特選、金賞、銀賞、銅賞

総合の部（ひらがな・かきかたコンクールを除く）

書字文化賞（グランプリは文部科学大臣賞）

全国硬筆コン＝硬筆・学生展＝毛筆ともに優秀な作品の提出者若干名に授与

（以上詳しくは書文協ホームページ6月号を参照）